

ロボティクス・メカトロニクス講演会2016 (ROBOMECH2016 in Yokohama) 開催報告

開催日：2016年6月8日(水)～11日(土)

会場：パシフィコ横浜他(神奈川県横浜市)

講演会URL：<http://robomech.org/2016/>

ROBOMECH2016 実行委員長 小俣 透(東工大)

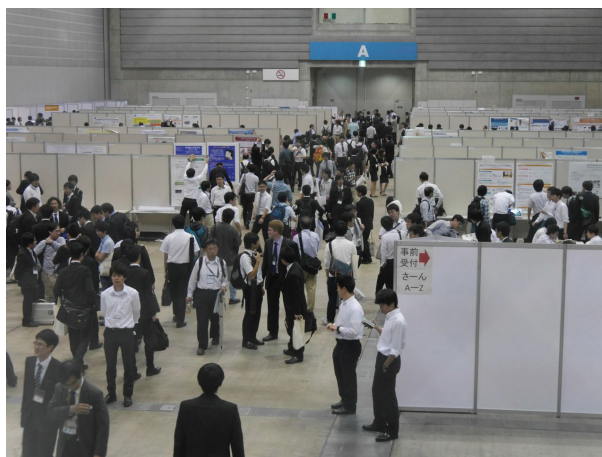
ROBOMECH2016 in Yokohamaは「未来社会を創造するロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、2016年6月8日～11日の日程で横浜市内で開催されました。今回はポスター発表1,265件、登録参加者1,904人でした。

初日の8日には、産学連携特別企画「連携からのロボットの实用化促進」、および宇宙探査、次世代社会インフラ、地域交流に関する三つのワークショップが横浜市開港記念会館で開催され、IT、RTに関する二つのチュートリアルがパシフィコ横浜で開催されました。産学連携特別企画は昨年からはまったポスター形式による企画であり、今回は産学双方から見た学会の価値を高めることを目標に、部門技術委員会が協力しました。いずれも本部門の社会的な広がりを感じさせる行事であり、大盛況のうちに終了しました。

メイン行事であるポスター発表が9日、10日の2日間にパシフィコ横浜で行われ、活発な討論が行われました。9日午後には大さん橋ホールで二件の特別講演が行われ、最初に、黒岩祐治神奈川県知事から県のロボット産業に関する取り組みについての講演を頂きました。高齢化時代を見据えた出口戦略を描いたロボット産業振興は、当部門にとって大変参考になるものでした。次に、医療の実情に詳しい高瀬浩造氏(東京医科歯科大学教授)から「工学界と医学界との相互理解への道」と題する講演を頂き、医療費の抑制などの視点から医工連携への期待をお話し頂きました。

11日には、横浜市開港記念会館で公開講座「実用化が期待される、いま話題の最新ロボットたち」が行われました。本部門の第一線で活躍している川嶋健嗣先生、小林宏先生、浅間一先生、野波健蔵先生、田所諭先生から、それぞれ、手術支援ロボット、パワードスーツ、原発ロボット、ドローン、災害ロボットに関する講演を頂き、横浜市経済局、神奈川県産業技術センターからそれぞれ特区に関する講演を頂きました。アンケートの意見は大変好評でした。

また、小中学生向けにロボット工作教室「光に向かって動くロボット「オプト」を作ろう！」は申込多数であったため、参加人数を倍増して開催しました。ご協力を賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。



ROBOMECH 2016会場の様子

部門賞・部門一般表彰報告

去る2016年6月9日(木)に、横浜市で開催されましたロボティクス・メカトロニクス講演会2016にて、前年度の功績・業績を讃えまして各賞の表彰式が行われました。

各賞の内容と受賞者を以下にご紹介します。

1. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門では、ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の3部門賞を設けております。

(1) 部門功績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で、研究、教育、学会活動の面で多大な影響を及ぼし、国際的評価が高く、かつ有力な著書、論文などを著している個人または団体（法主体）に贈る。

(2) 部門学術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある学術業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

(3) 部門技術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門賞候補者の中から日本機械学会部門賞通則第5項に基づく人数以内を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

<部門賞候補者の推薦方法及び時期>

部門賞の受賞候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門賞募集は公募によるものとし、推薦または本人または団体（法主体）よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示致しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっています。

部門賞

部門功績賞	松日楽 信人（芝浦工業大学）
部門学術業績賞	木口 量夫（九州大学）
	細田 耕（大阪大学）
部門技術業績賞	株式会社アトックス （福島原発事故対応の水位測定技術に対して）

2. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の4つの一般表彰を設けています。

(1) 部門貢献表彰

部門への著しい貢献が認められる個人、または団体に対して行う。

(2) ROBOMECH表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門主催講演会・シンポジウムなどにおいて、研究内容に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(3) ベストプレゼンテーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、プレゼンテーション面に対して高い評価を得た個人に対して行う。

(4) 部門欧文誌表彰

Robomech Journalに掲載された優秀な論文の著者全員に対して行う。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門表彰候補者の中から適格者を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

<表彰候補者の推薦方法及び時期>

部門一般表彰の表彰候補者は原則として日本機械学会会員とします。ベストプレゼンテーション表彰は当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会の実行委員会が候補者を選考し、開催日から5ヶ月以内に表彰委員会に推薦します。ROBOMECH表彰、及び部門貢献表彰候補者は公募によるものとし、推薦または本人よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっています。

なお、ROBOMECH表彰で対象とする講演会・シンポジウムは前年度の10月1日以降、当該年度の9月30日までに開催されたものとなっていますが、2015年度は12月に開催されたICAM2015も対象としました。

部門貢献表彰

主な功績・業績	受賞者
ROBOMECH2015実行委員長	永井 清(立命館大学)
ICAM2015実行委員長	岩田 浩康(早稲田大学)
第20回ロボティクスシンポジア実行委員長	浅間 一(東京大学)

ROBOMECH表彰

講演題目	受賞者
二次元市街地図を用いた初めて訪れる場所における自己位置推定 ー二乗損失相互情報量による手法ー (第20回ロボティクスシンポジウム)	入江 清(千葉工業大学/東京工業大学), 杉山 将(東京大学/東京工業大学), 友納 正裕(千葉工業大学)
制御モードと操りモードを切替える全腕マニピュレーション(第20回ロボティクスシンポジウム)	山脇 輔(防衛大学校), 八島 真人(防衛大学校)
曲面構造を有する眼底血管モデルの作製 (ROBOMECH2015)	新井 史人 (名古屋大学), 加藤 一平(名古屋大学), 光石 衛(東京大学), 杉田 直彦(東京大学), 原田 香奈子(東京大学), 田中 真一(東京大学)
チンアナゴを参考とした土中推進を行う索状移動体 ー第1報：土中推進の基本原則ー(ROBOMECH2015)	渡辺 祥広(東京工業大学), 楯 貴志(東京工業大学) 塚越 秀行(東京工業大学)
タンブリング衛星捕獲のための相対回転制御に向けた接触ダイナミクス(ROBOMECH2015)	永岡 健司(東北大学), 小林 明誉(東北大学), 吉田 和哉(東北大学)

ベストプレゼンテーション表彰

講演題目	受賞者
ヒトの行動主体性と身体所有感の関係についての検討	原 正之(埼玉大学)
リバーズエンジニアリングに基づいた小学生ロボット工作教室の試み	逸見 知弘(香川高等専門学校)
触圧の測定が可能な指サック型ゴム製人工皮膚層ひずみゲージサンド	竹囲 年延(成蹊大学)
深海ケミカルカメラの開発	高橋 朋子(東京大学)
空中2液混合バルブ機構	多田隈 建二郎(大阪大学)

部門欧文誌表彰

主な功績・業績	受賞者
The robot that can achieve card magic (Robomech Journal, Vol.2, No.5, 2015)	Ryoma Koretake(Osaka University), Makoto Kaneko(Osaka University), Mitsuru Higashimori(Osaka University)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2017 (ROBOMECH2017 in Fukushima) 開催案内

開催日：2017年5月10日(水)～13日(土)

会場：ビッグパレットふくしま(福島県郡山市南二丁目52番地)

講演会URL：<http://robomech.org/2017/>

ROBOMECH2017 実行委員長 高橋 隆行 (福島大学)

当部門主催、ロボティクス・メカトロニクス講演会2017 in Fukushimaは、2017年5月10日～13日にビッグパレットふくしま (JR郡山駅からバス約15分) にて開催します。5月10日はワークショップ、チュートリアル、特別企画等を予定しています。5月11日と12日は、ポスター展示と企業展示を広めの会場で行う予定です。5月13日は市民向けならびに福島ならではの企画を計画しています。今回のテーマは「再生と飛躍を導くロボティクス・メカトロニクス」です。東日本大震災ならびに東京電力福島第一原子力発電所事故から5年余りが経過しましたが、その復興とさらなる飛躍を感じていただける大会にしたいと考えております。

開催地の郡山市は福島県のほぼ中央に位置し、交通の要所であるとともに福島県で2番目に大きな都市です。

5月初旬の福島県は、朝晩こそまだ少し冷え込むものの日中はとてもさわやかな気候です。車で30分ほどのところに複数の名湯が湧いており、ゆっくり湯治を楽しまれるにもいい季節かと思えます。また、猪苗代湖や会津へのアクセスにもとても便利な場所です。会津若松から風光明媚な溪谷を通る鉄道で東京まで列車の旅を楽しむこともできます。この機会に是非、さまざまな「ふくしま」を発見していただきつつ、多数の皆様のご発表・ご参加をお待ちしております。



今後の行事についてのご案内

●電子工作教室-電子オルゴールを作ってみよう-

日時：2016年10月16日(日)

場所：福井大学文京キャンパス(福井県福井市文京3-9-1)

URL：<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4788>

●親子ロボットのスカベンジャー工作教室

日時：2016年11月6日(日)

場所：東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス(東京都荒川区南千住8丁目17番1号)

URL：<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4867>

●親子ロボット工作教室「とことこロボットをつくろう！」

日時：2016年11月12日(土)

場所：静岡大学 浜松キャンパス(静岡県浜松市中区城北3丁目5-1)

URL：<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4787>

●東北地区特別講演会「次世代の臓器モデルとロボット外科手術」

日時：2016年11月18日(金)

場所：東北大学大学院工学研究科 機械・知能系共同棟6階会議室(仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-1)

●九州地区特別講演会「理念を支える科学技術～太陽の家からノーマライゼーションまで～」

日時：2016年11月21日(月)

場所：大分大学工学部 産学官連携機構セミナー室(大分県大分市旦野原700)

●九州地区見学会「三和酒類 宇佐工場 見学会」

日時：2016年12月2日(金)

場所：三和酒類株式会社 宇佐工場(大分県宇佐市大字山本2231番地の1)

●九州地区競技大会「フューチャードリーム！ロボメカデザインコンペ2016」

日時：2016年12月10日(土)

場所：ロホボスクエア(福岡県福岡市早良区百道浜2丁目3-2 TNC放送会館2F)

URL：<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4706>

●小学生を対象としたロボット工作教室「ロボットについて知ろう！&作って動かしてみよう！」

日時：2016年12月18日(日)

場所：香川高専高松キャンパス 地域イノベーションセンター2F会議室(香川県高松市勅使町355)

URL：<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4870>

●pico-EV・エコチャレンジ2017

日時：2017年3月5日(日)

場所：職業能力開発総合大学校 体育館(東京都小平市小川西町2-32-1)

URL：<http://picoev.main.jp/>

●第22回ロボティクス・シンポジア

日時：2017年3月15日(水)～16日(木)

場所：磯部ガーデン(群馬県安中市磯部1-12-5)

URL：<http://www.robotics-symposia.org/22nd/>

●第20回ロボットグランプリ

日時：2017年3月25日(土)～26日(日)

場所：東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス(東京都荒川区南千住8丁目17番1号)

URL：<http://www.RobotGrandPrix.com>

●ロボティクス・メカトロニクス講演会2017(ROBOMECH2017 in Fukushima)

日時：2017年5月10日(水)～13日(土)

場所：ビッグパレットふくしま(福島県郡山市南二丁目52番地)

URL：<http://robomech.org/2017/>

第94期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 柳原好孝(東急建設)
副部門長 小俣透(東工大) 幹事 石橋良太(首都大)
編集：広報委員会
委員長 程島竜一(埼玉大) 副委員長 小川原光一(和歌山大)
委員 辻田哲平(防衛大) 幹事 山脇輔(防衛大)

ロボメカ部門関係アドレス

■部門ホームページURL

<http://www.jsme.or.jp/rmd/>

■部門広報委員会メールアドレス

rmd@jsme.or.jp